

国際セミナー

ミャンマー国・インレー湖における 湖沼と集水域の管理をいかに目指すか？

～ JICA 持続可能な自然資源管理能力向上支援プロジェクトの展開に向けて～

インレー湖は、ミャンマー国の東側、シャン高原の中央に位置し、野生生物の宝庫として知られており、2015年にはユネスコの Biosphere reserve としてミャンマーで初めて指定されました。また、古くから漁業や水上耕作などが盛んで、地域住民の重要な生活の基盤であるとともに、近年では、その雄大な景観から、国際的な観光地となっています。

しかし、最近、観光業をはじめとする急速な地域経済の発展により自然環境の劣化が進んでいます。さらに、集水域上流部では、農業の活発化などによる山地の裸地化や土壌侵食が進行し、これがインレー湖への土砂堆積と乾季の河川水の流入量の低下をもたらし、インレー湖の水深が浅くなるなど、将来にわたる水環境利用の持続性が強く危惧されています。

JICA では、インレー湖を中心とした【統合的流域管理】を目指し「持続可能な自然資源管理能力向上支援プロジェクト」を立ち上げ、①集水域の関係者間の連携協力体制の構築、②集水域上流部での治山技術を含む土壌流失を防止する土地利用手法の導入、③湖面での渡り鳥の生息地保全にも焦点を当てた内水面の利用区分（ゾーニング）とルール確立を支援することとしています。

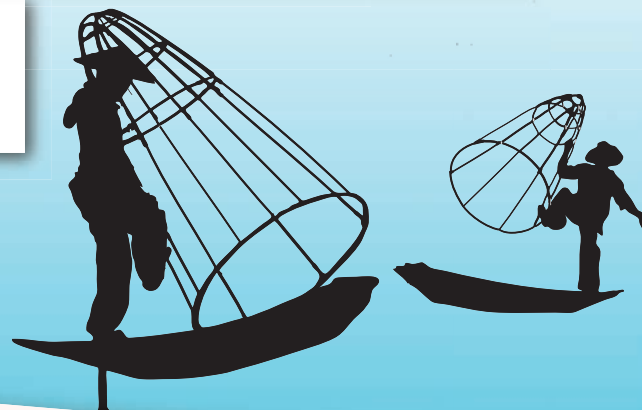
本国際セミナーは、今後のプロジェクトの展開に先駆け、インレー湖の湖面や集水域管理をめぐる課題や今後の方向性について議論し、認識を深めることを目的として、開催いたします。

日時：平成30年11月9日(金)13:00～17:00

会場：全国都市会館大ホール（東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館2F）

主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）

協力：REDD+ プラットフォーム



ミャンマー国 国章



ミャンマー国
自然資源環境保全省

プログラム(案)

13:30 - 13:35

開会の挨拶 林野庁

13:35 - 14:15

基調講演 太田猛彦東京大学名誉教授
「統合的流域管理と治山・治水」

パネリスト発表

14:15 - 14:50

ミャンマー国自然資源環境保全省 森林局長
「インレー湖の上流山地の現状と課題について」

14:50 - 15:25

ミャンマー国農業畜産灌漑省 灌漑水利用管理局次長
「インレー湖の管理を巡る現状と課題について」

15:25 - 15:40

ムハンディキ・ビクター・シホロ
公益財団法人 国際湖沼環境委員会 (ILEC) 専門研究員
「世界における湖沼管理の実践 ～インド・ボパール湖、
ケニア・ナクル湖の事例を中心に～」

15:40 - 15:55

落合博貴 森林総合研究所フェロー
「山地からの土砂流出の防止（ブラジルの取組から）」

休憩 10分

16:05 - 16:55

パネルディスカッション
モデレーター：中田 博 JICA 国際協力専門員
パネラー：上記パネリストのほか、
木村穰 JICA チーフアドバイザー

16:55 - 17:00

閉会の挨拶 JICA 地球環境部



なお、本プログラムは予告なしに変更される可能性があります。
あらかじめご理解の程宜しくお願いいたします。